



横浜人形の家

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町18
TEL 045-671-9361 / FAX 045-671-9022
<http://www.doll-museum.jp/>

報道関係者各位
プレスリリース

2016年11月吉日

400年にわたり継承される江戸の糸あやつり人形 確かな表現力が生み出す日本の技と美

横浜人形の家は、1月14日(土)あかいくつ劇場にて、江戸糸あやつり人形の公演を開催します。
江戸時代に生まれ、江戸ー東京を中心に現代に生きつづける日本の糸あやつり人形。
手板(ていた)と呼ばれる操作板と約20本の糸を遣い、日本ならではの繊細で表情豊かな動きを生み出します。
新春公演に相応しい今に生きる日本の伝統をご堪能ください。

- 【場 所】 横浜人形の家4階 あかいくつ劇場
【日 時】 平成29年1月14日(土) 11:00 / 14:00
【内 容】 糸あやつり人形「かっぽれ」「酔いどれ」「黒髪」「獅子舞」「ショ・ジョ・ジ」
+人形解説
【キャスト】 上條 充 福田 久美子
【料 金】 大人(高校生以上)1,800円 / 小人(3歳以上~中学生)1,300円
※全席自由 ※3歳未満のお子様はお膝の上での鑑賞は無料
※上記観覧料で横浜人形の家の特設展示もご覧いただけます
【ご予約】 横浜人形の家ホームページ(<http://doll-museum.jp/>)
【協 力】 公益財団法人 現代人形劇センター



＜公演チラシ＞



＜「黒髪」宣材資料＞



＜江戸糸あやつり人形 宣材資料＞

＜演目＞

「かっぽれ」

明治時代に大流行した大道芸。

「酔いどれ」

酔いつぶれて眠ってしまった酔っ払い。
ふとお囃子の音がきこえて……。
引き抜きという仕掛けが魅せる。

「黒髪」

振付は日本舞踊の花柳昌三郎。
恋人を待つ女ごころを映す地唄舞。

「獅子舞」

縁起物として尊重される獅子舞を
糸あやつりならではの趣向で……。

「ショ・ジョ・ジ」

証誠寺に棲むいたずら好きのタヌキが
化けて……。
骨寄せと呼ばれる、古くから伝わる仕掛
けを使ったコメディ。

「人形解説」合間に人形と仕組み、遣い方を紹介。

本件に関する問い合わせなどの連絡先

横浜人形の家 広報担当 山田 まで

TEL 045-671-9361 / FAX 045-671-9022 / E-mail info@doll-museum.jp